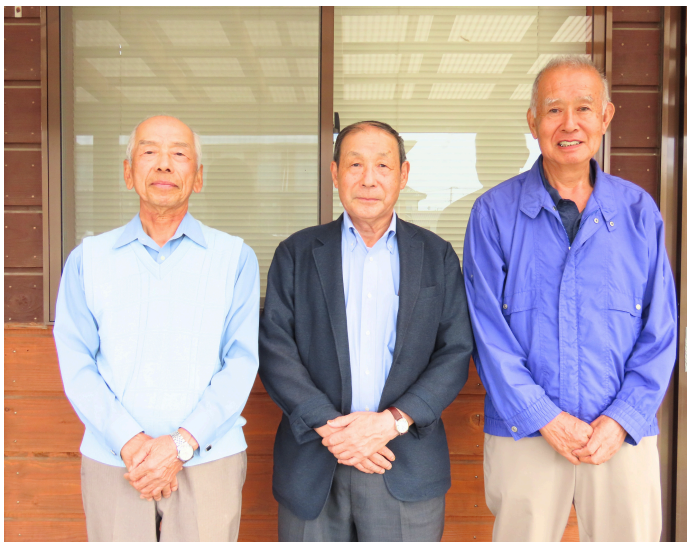


さわやかグラウンド・ゴルフ会

『民児協※さわやかグラウンド・ゴルフ会』の活動について、副会長の戸祭守男さん、事務局の椎名博さんと石川順一さんにお話を伺いました。（※民児協は、民生委員児童委員協議会の略称です）

本会の趣旨について、戸祭さんは「民児協の活動の一環として、グラウンド・ゴルフを通じた健康増進と、委員同士のコミュニケーションを深めることを目的に、平成27年に発足しました」と話します。



▲ (左から)椎名さん、戸祭さん、石川さん

気軽な交流が支える、民生委員のネットワーク

当時の中心メンバーの一人である椎名さんは、「民生委員の活動では、判断に迷う場面や難しい対応を求められることが少なくありません。そうした時、他の委員に相談したいと思っても、定例会では協議や連絡事項で時間が限られ、個別の相談まで行うことが難しいのが現状でした」と振り返ります。「そこで、委員どうしが立場を超えて気軽に交流し、日頃の思いや悩みを共有できる場が必要だと考え、当時の民児協会長とも相談しながら、この活動を立ち上げました」と、活動への思いを語ってくれました。

OB・OGと現役をつなぐ、支え合いの輪

現在の会員は31名で、そのうち13名が民生委員のOB・OGです。現役委員の石川さんは、「経験豊富なOB・OGの話はとても参考になります。グラウンド・ゴルフの場では、普段なかなか話せないことも気軽に相談できます」と、この会の魅力を語ります。研修目的で参加した石川さんですが、競技の楽しさに惹かれ、現在は事務局を務めています。

今年は民生委員の一斉改選の年を迎え、今後、高齢化が進む中、地域では高齢者が増え、その見守りや支え合いの活動が重要になっています。戸祭さんは、「現役委員とOB・OGがつながり、支え合える関係が大切」と話し、賛同する委員の参加を歓迎しています。

また椎名さんは、「民生委員が孤立しないよう、横のつながりを守り続けたい」と、会への思いを語ります。経験と想いを共有しながら支え合うこの活動は、地域を支える大切な力となっています。

活動写真

